ハードウエアとソフトウエアの概要を説明し、 実際の画像収集の際に対話形式でボタン操作のみ で進行することを示した.本装置は、マイクロド ットイメージャーの機能を持ち、同一フィルム上 にアナログ像と画像処理した像がすばやくうつし 込める.リストモード収集、ヒストグラムモード 解折、心電図同期心プールイメージによる左室駆 出率算出の方法を述べた.シンチビューは、日常 診療に際して操作が簡便であり、使い易いデータ 処理装置である.

7. 東芝 ECG gated blood pool 多分割撮像装置 TFM-0010 (特) の使用経験

中嶋 憲一 分校 久志 利波 紀久 久田 欣一 (金大·核)

本法には ECG, ECG 同期装置, γ imager が必要である。同期装置は東芝多分割撮像装置 TFM 0010 (特) フジテック製である。Tc-99m albumin 20 mCi を bolus で静注し、RI アンジオグラフィー施行後、そのプール像を LAO 30° で650心拍にわたって加算し、 γ -imager により15分割の連続イメージとして撮像した。

本法は、1) 10数分間で心拍一周期にわたる経時的イメージを得ることができる。2) 心室壁 (特に左室) 異常運動の観察は虚血性心疾患、心不全などの機能評価および経過観察に有用であった。3) 収縮末期、拡張末期像から Ejection Fractionの算出ができる。4) RI アンジオグラフィー、Tl-201 心筋スキャンとの併用で診断上有用な情報を得ることができた。5) 同時にコンピュータ東芝 DAP 5000N にリストモードで情報を採取し、motion imageとしての観察も行なった。ゲート法を用いた症例 4 例を供覧した。

8. フロッピーディスクによるシンチビューの使 用経験

---第1報 Ops/con Schintiview の紹介

平木辰之助 折戸 武郎 小島 一彦 真田 茂 (金大医短・放) 宮崎 吉春 宮永 盛郎 (能登総合)

米国 Searle 社製 Ops/con, Schintiview を使用する機会があったので、その特徴について報告した。テレビモニターは 12インチ白黒像、256 濃淡レベルで、シンチカメラ LFOV 型を接続し、押ボタンによる対話形式で操作する。特に通常必要な表示プログラム,処理プログラムが組み込まれており、フロッピーディスクを使用することにより8k×8ピットのメモリーを1枚のディスク内に収納し、随時交換して分類し管理することが可能である。

今回は,カーディアック I のプログラムによる VTR 記録像で 64×64 画像のシネモードと100%に 正規化された容積曲線描画手技を提示した.

ガンマカメラとオフラインミニコンによる RCT の基礎的検討

小島 一彦 平木辰之助 (金大医短・放)前田 敏男 久田 欣一 (同・核)山田 正人 (同・中放)

RCT 専用機器の開発も進められているが、RCT 画像再合成の研究に既設のガンマカメラを検出器として、コンピューターで断層イメージを再合成する一連の過程を検討した。

ガンマカメラは,東芝 GCA-401(高分解能コリメータ付き)を用い,横方向から 10° ごと36枚の側面イメージを収集し,そのイメージから断層を得たい任意のラインのプロフィルデータを角度デ